

地区スローガン

“希望を語ろう”

— We are Rotary, together —

2023～2024年度 国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー
2023～2024年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 高荷秀篤



世界に希望を生み出そう

会 長	坂田 清茂
会長エレクト	斉藤 一英
幹 事	織田 裕之
副 会 長	橋本 和也
//	武正 進介
//	八木 茂幸

3 会 長 の 時 間



会 長 坂 田 清 茂

クラブテーマ 充実した例会に

第 2882 回 No.61-24

2024 年 2 月 29 日 (木) 第 3 例会

平和構築と紛争予防月間

『パネルディスカッション例会』

プログラム

- 12:30 1 点鐘
2 ロータリーソング
「我らの生業」「4つのテスト」斉唱
3 会長の時間
4 幹事報告
5 地区及び委員会報告
6 パネルディスカッション
R米山記念奨学委員会委員長あいさつ
高橋 豊
資料説明 加藤玄静
テーマ『R米山記念奨学事業に意見を募る』
・コーディネーター 渋谷健司
・パネラー 永井保之・桜井祐治
7 ニコニコBOX
8 出席率発表
9 次回プログラム発表
13:30 10 点鐘

いつも月の最後の例会は夜間なので、時間を間違ったりして出席率が低いのではないかと考えてましたが、たくさんのご参加、本当にありがとうございます。

最初にクラブの方針と若干関わるので、2つほど報告・ご了解を得たいことがあります。

まずは高崎ロータリークラブと友好クラブ締結をするという話です。理事会で通ればいいのではないかと話でもありますが、せっかくの機会ですので皆さんにご了解をいただきたいということです。

先輩方からご紹介もあり、数年前から田中久夫PGがおいでの高崎クラブが『近隣クラブで同じような規模クラブとの友好クラブを結びたい』という話がありました。今までもゴルフも含めて交流はしていたのですが正式に3月15日に調印式を結ぼうという段取りになっております。高崎クラブは約150名、この辺りではかなりビッグクラブです。本庄も2570地区では3番目に大きいクラブなので、高崎とも近いし、交流もしているのでそろそろいいんじゃないかというお話です。

それともうひとつ、クラブジャケット新調検討プロジェクトチームの発足ということで、これも私が会長に決まったぐらいから複数の方から、今のジャケットがもうかれこれ15年以上経つし、特に若い会員からちょっと型が古い、色がダサい?みたいな話がちょこちょこありまして、変えよう変えようと言われてましたが、私の1人一存では決められないので『坂田、織田幹事、巴高志さん、佐藤賀則さん、茂木国久さん、須田礼子さん、櫻澤真琴さん、斉藤一英会長エレクト、笠本副幹事』この9名でプロジェクトとして検討していこうということです。最終的なデザインは理事会で決める予定なんですけど、私の年度で決まるかどうか分かりません。斉藤年度に委ねたいということで、この2つの

本庄RC事務局

〒367-0021 本庄市東台2-3-1F KRSビル4F
TEL: 0495-22-7522 FAX: 0495-22-3571
E-mail: honjorc7522@gmail.com
URL: https://www.honjyo-rc.org



ホームページQRコード

件につきまして、皆さん賛同いただける方は拍手をいただければありがたいです。ありがとうございます。

さて、ロータリーには特別月間目標が12か月間ございます。今月は平和構築と紛争予防結果です。それを12か月間やるとロータリーが目指しているいろんな活動を網羅できるという仕組みになっています。

今日は米山記念奨学会のテーマで加藤パスト会長にお話いただいたあと、高橋豊さん率いる米山委員会が中心となったパネルディスカッションです。本来は10月に行うべきところ、諸事情で今月に至ってしまったという経緯がございます。せっくなので、私の米山に関係する経験をお話いたします。我が社は金属を扱う工場をやっています。金属の表面を綺麗にするショットブラストという機械がありまして、その機械を購入するのに、栃木県にある工場に行きました。そこで案内してくれた担当者が中国人でした。

その時おそらくロータリーのバッチを付けていたんだろうと思うのですが、ロータリーの話になりまして『坂田さんはロータリアンですか』と、『ロータリアンだよ』と、『実は私米山の奨学生だったんですよ』という話しになりまして35・6歳、その会社の営業マンです。もちろん日本語も堪能でとても優秀でした。『その節は大変お世話になりました』と言われましたが、私もその時は入会してから5年程しか経ってなかったんですが、ロータリーってのはこういうことなんだなと思いました。今、王くんが奨学生としてここにおりますが、就職して、仕事先でロータリアンに会えばきっと『その節はお世話になりました』という会話をするでしょう。そうやって継承されていく活動なんだと実際に社会にでた奨学生に会って感じたという話です。

また、関連して少し中国話をしたいなと思います。今色々、中国と日本っていうのは、平和どころか戦争仕掛けられるんじゃないとか中国を毛嫌にする方もこの中にも多分おられると思いますが、私が中国に最初に行ったのは40年前で上海でした。車はほとんど走ってなく貧しい国なんだと感じました。時が流れて20年後にまた同じ上海に行きました。びっくりしましてね、空港から上海の市内へとバスで走りました。バスのガイドさんが『来ますよ、来ますよ、来ますよ』と言うんですね。リニアモーターカーですよ。400キロでジャンって来るわけですよ。あれ見て新幹線どころの騒ぎじゃないです。たった20年間でこんなに進化するその速さです。それ以来、中国に対して興味を持つようになりその頃、外国人実習生制度ができ中国から通算2~30人雇用することになり、知り合いも増え中国へ行くことが増えました。香港を除いて中国本土には8~9回行って色々な刺激・驚きもうけ、不動産バブルで日本円で2~3万円の月給の人が平気で2,000万円のマンション買ってたり意味わかんないですよ。理由が2,000万円で買ったマンションが1年経つと2,500万円で売れるんですよ。この話は昔バブルの頃で、私たち経験しましたよね。投資マンション、ゴルフの会員券とか…でもねどっかで破綻しますよ。だって年収と見合っていないわけですから。あれから20年経ちますから。

30階建てぐらいの高層マンションが5棟建てて誰も住んでない。30億人分の空き家があるそうです。中国人口14億人しかいないのに30億人分の空き家ですよ。わけわかんない、どんどん突っ走っちゃう国です。

ロータリーは主に中国人、王君も含めてですけど、米山奨学金という形で皆さんからの支援をうけてるということです。それに対して皆さんはどうお考えかっていうのは、後ほど行われるパネルディスカッションで多くの方の意見も聞きながら進めていっていただきたいと考えております。

ちょっと2~3分時間を超過しましたがけども、以上で会長の時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。

4

幹事報告



幹事 織田裕之

クラブジャケットについては例会后会議がございます。いずれにしても、皆さんの意見を聞きながら、どんな形になるかなど進めていければと思います。

また、地区の2570プロジェクトから希望の風のチャリティー講演の案内が来ております。回覧いたします。また、地区大会3月16・17日でございます。ぜひ多くの皆様のご参加お待ちしております。当日は本庄へ戻ってきてから温井会員のお店ホルモン道場で懇親会を開催しますので、こちらでもよろしく願います。また、ハイライト米山よりマンスリーニュース、レッツボランティアボランティアニュースが来ております。以上幹事報告といたします。ありがとうございました。

5

委員会報告



2570 プロジェクト 委員長 金井福則

地区から1点お願いになります。ロータリー希望の風チャリティー講演、3月10日(日)本庄市民文化会館で開催します。講師はテレビでコメンテーターとしてよく出てる方、佐々木成三氏です。ここでロータリー希望の風というものを簡単に

説明します。

東日本大震災で、両親もしくは片親を亡くした震災孤児たちが専門学校、短大、大学を卒業するまで毎月5万円返済のない支援をしています。それがロータリー希望の風であります。前回は夜回り先生の水谷先生を講師として呼びました。

後日、女性の方が5万円持ってきてくださって『先日は手持ちがなくて…これ使ってください。ロータリーさんは素晴らしい事業をされてるのですね』とおっしゃってくださったそうです。

何が言いたいかと申しますと、まだチケットがあります。ぜひ皆様方、1枚でもいいですから声かけて販売の方、ご協力お願いできればと思います。以上です。

米山奨学生 奨学金授与

王 睿涵さん



会長の不動産の話で私の知ってる限りでお話します。月収1~2万で2,000万の家持つって普通の話です。うちは確かに2,000万円以上でした。そ中国人が家買うのは単純に投資ではなく、中国人は伝統的に新しい家と車買えないと結婚できないという仕組みになっています(笑)

家と車がないと結婚するの恥ずかしいみたいな、そういう伝統は今までもあります。

だから若者でもガンガン家買ってると思います。空き家いっぱいありますから、利用率がすごい低いと思います。

今現在私から見るともっとおかしい現象があります。それは中国の就職の困難です。1番の問題になってます。倍率は多分20、20倍くらいになってます。

でも1番いいところはやはり食べ物。中国は安いですね。日本と比べると、食べ物の値段多分日本の3分～4分の1くらいです。交通の費用も全然かからないですから、多分給料低くても全然行けますっていう話です。はい以上で終わります。ありがとうございました。

6

パネルディスカッション



あいさつ
ロータリー米山記念奨学委員長
高橋 豊



2009-2010年度ガバナー
2016-2022年度
米山記念奨学会理事

加藤玄静

お手元に資料を作ってまいりました。保存版という形でずっと使えます。1つだけ説明したいのは資料の後ろから4枚目。左側に米山奨学事業の特徴、右側に学校名がある頁です。右側に学校が11校書いてあり2570地区はこの11校を指定してありますので奨学生が手を挙げて担当教授がその方の論文と面接を経てそれが地区に上がってきます。地区の役員は、その成績、論文等を見て面接をし、可否いたします。日本の場合は圧倒的に中国、台湾、韓国、ベトナムが多いです。偏った数字になるかと思いますが我々が選ぶだけでなく学校から出てくるのがこういった数字が多いということです。

現在、本部の学部選考委員に高柳さんがでますので詳しいことはまた彼に聞いていただくとわかると思います。この資料をぜひ保存版として扱ってください。以上です。

テーマ『R米山記念奨学事業に意見を募る』



コーディネーター
渋澤健司

パネラー
永井保之・桜井祐治

渋澤健司

今年度カウンセラー、本日コーディネーター渋澤です。

打ち合わせも十分にしておりますが、米山ってこんなに良いんだよというところをしっかりとお2人に解説をしていただきたいと思ってます。それでは関わってる運営委員会の永井委員長、関わってよかったというところお話しください。



永井保之

米山との関わりは高柳ガバナーの年度に副幹事ということで米山委員会に関わってそれからですね。

実は何もわからず携わってましたね。米山奨学生が例会に来て『海外の人がいるな』程度な状態で、お手伝いに行くことになりました。

そしてこの地区に集まってる奨学生のスピーチしている姿みたりして初めて、こういうことだったのかと、わかった感じでした。

例えば高校生が来ているのかなと当初は思ったんですけど、実は米山は日本に来てる留学生、これに対する奨学金を与える制度だとそこで初めてわかったような状態でした。

非常に米山に来てる奨学生みんな真面目というのが第一印象でした。日本に来て3年～4年でも難しい日本語の意思疎通ができるぐらいの上達していて最初に感心したことを覚えてます。

1年通して色々な話をしてる中で、これまで学業に専念でずにアルバイトをしたり時間を取られて研究や勉強に打ち込めなかったのが奨学金のおかげで学ぶ時間がとれたという話を聞いてこの制度は素晴らしいなということは最初に思いました。とりあえずこの辺で。



桜井祐治

今年度地区の方に出向しておりますが、2年前に初めて地区で米山奨学委員会のお手伝いをし、本当に全くわからず家庭の事情とかで貧しい方に支援してんのかなっていうのが第一印象でしたが、要は金銭的な支援なんです、優秀な学生を支援し、母国に戻った時の核となる人材

に奨学生になってもらって期間中日本を好きになってもらって、他国との架け橋になるという、大きな目的があることを初めて知り、ロータリーの核となる事業なんだなっていうのが私の第一印象です。日本のいろんな所、ことを教えよっていう風に意気込んでますが、やはり、最終的には1年通すと逆に奨学生のが日本のいいところを教えてくれる、そんなような感じで皆さん真面目で、日本をとても好きになってくれる、素晴らしい事業だと思います。



ありがとうございます。ただお金を支援するだけではなく世界と日本を結ぶ平和の駆け足になってもらうということですね。では奨学生になって良かったこと、はい1分間でまとめて答えていただきたいと思います。はい王君、わかりく簡潔に(笑)



王 睿涵

金銭は決して第1ではないです。この事業では、こういう素晴らしいプランもあったり、カウンセラーの制度もあったり、色々イベントもあります。大体毎月ありますがチームの方で、この私もまだ全然バイトはしてない。色々な活動が多ですが、この活動が交流の機械になるし、そういう観点からもこの奨学生制度を受けました。

桜井祐治

毎年毎年地区の学生と交流してるんですけども、と地区の交流っていうか、クラブで私自身が経験したことは、奨学生をお客さんと思っているメンバーが多くてやっぱり奨学生も交流を求めている人がほとんどだと思うので各クラブのメンバーが同志、という扱いで一緒にクラブを運営しているつもりで仲間だと思って接して行くということをもう理解してメンバーの方から関わってほしいなという思いです。

渋澤健司

はい、ありがとうございます。メンバーもぜひ、大君もお酒も飲めますんでね、酒を酌み交わすとかね。そういう中で、永井さん、どんなん関わりを持っていますかね。

永井保之

桜井さんが言ったことは本当に肝で、お客さんじゃないんですよ米山奨学生は。こっちもお客さん扱いしちゃうんですよ。僕も最初そうでした。お客さんが来てるなっていう意識で接したんですが実はそうじゃなくて、会員同士というような立場で接してもらおうのが本来の趣旨であって、奨学生もそれを求めているのかな、って思いますね。

お客さん扱いで1年間例会にでてご飯食べて、送り返して、お金もらって帰る…とそれで多分終わっちゃうんですよ。最近では受付やってもらったり色々な形で皆さんのテーブルにね混ぜてもらってそれって1番大切なのかなという風に思っています。

渋澤健司

先ほど塚越先生、米山はもういらないんじゃないかなって話、ちょこっと言っていましたので、その辺のところの話を伺わせてください。



塚越 茂

日本学生の給付は70億円。一方、外国人留学生の給付が140億円、2倍ですね。月額が2~4万、日本ね。外国人に対しては月額14万、外国人に対しては非常に手厚い給付で日本人の貧しい学生に対してもっと変えいった方がいいんじゃないかな

いかとこういうことです。

渋澤健司

このような意見がありますけども『そんなことないよ』っていうような意見、ぜひ茂木さんいかがでしょうかね。はい、どうぞ。



茂木 正

そうですね。東南アジアで日本が迷惑をかけたという頃から始まったと思うんですね。データを見てもわかるように、中国・台湾などに集中してきているような気がしています。

そういう意味では、世界はもっと広い国々からも、知見だけでなく、受け入れることができればいいん

じゃないかなと思っています。

先ほど塚越先生がおっしゃっていたご意見に賛同しそうになってしまいますけれども、たくさんの国からそうした要領で奨学を受け入れられたらいいなという風に思っております。以上です。

渋澤健司

はい。貴重なご意見ありがとうございます。すぐ同じテーブルで高柳先生、どうぞ。はい。



高柳育行

確かに塚越先生のような意見もあるのかなと聞いておりました。

日本が貧しい国に支援してるとか、そういった部分もあるので、奨学金のことは数値的には知らなかったのですが、ディスカッションで聞いていたように事業としては成功していると思いますし、現在、私選考学部委

員会ですが中国の応募者52%ぐらいなんです。ちょっと私、今日遅刻してきたんで最初の辺が分かってないんですが、ある意味では色々な国にたいして奨学生として迎えてるという状態だと思います。

渋澤健司

ここで、ロータリーの、米山基金、奨学金はどういう風な形で成り立ってるか、どういう寄付金で成り立ってるかっていうのをよく知っている桜井さん。

ちょっと説明をしていただければという風に思います。

桜井祐治

はい。2年間学習した中で説明させていただきます。米山の基金は日本全国の各クラブの会員による基金によって成り立っております。

皆さん知らないかもしれませんが、ロータリーの会費の中の一部、本庄クラブは会費の中から今年度は一人5,000円、米山記念奨学金の方に当てられています。

年間一人5,000円です。人数でだしますと今年の予算的にはですね、46万円を基金として出しています。

以降割愛いたします



ニコニコBOX副委員長
寺本和彦

合計 47,000円

希望の風 2,000円

坂田清茂 Message 本庄R米山記念奨学委員会の担当例会です。よろしくお願ひいたします。

坂田清茂／渋澤健司／武正進介／池田敦司／永井保之
渋谷修身／滝澤博史／八木茂幸／橋本和也／茂木 正
鈴木 純／桜井祐治／塚越 茂／加藤玄静／小林智明
宮田博史／井河彰久 **17,000円**

矢島淳一 Message 3月10日(日)に希望の風チャリティー講演が本庄文化会館であります。お誘い合わせの上ご参加ください。 **希望の風委員矢島淳一**より

政裕美子／井田正志／塚越哲也／金井福則／萩原達夫
春山茂之／坂本優蔵／矢島淳一／真下敏明／茂木国久
温井康宏／戸谷元一 **12,000円**

須田礼子 Message 本日は主人が渋川RCからのメイキャップです。W(ダブル)須田★よろしくお願ひします。

織田裕之／高橋祐介／長岡 真／井田直貴／小田切浩
寺本和彦／蓮見 裕／斉藤一英／中谷嘉宏／佐藤賀則
須田礼子／石原美枝／相川浩一 **13,000円**

宇田榮二様 (渋川RC) 渋川RC宇田と申します。高崎RCの田中久夫PGから本庄RCの例会はすばらしいと伺い勉強させて頂きに参りました。よろしくお願ひいたします。

3,000円

須田 真様 (渋川RC) 渋川RC須田です。初参加、勉強させて頂きたい。よろしくお願ひいたします。

2,000円

出席委員長 高橋祐介
持田崇裕

会員数 **93名**

出席免除会員 2 出席義務会員数 92

本日の出席会員数 **46名**

本日の出席率 **49.5%**



プログラム委員長 宮田博史

今回の例会は3月7日木曜日五州園12時半から行います。卓話者がベトナム人のレロンソン様という方をお呼びしております。

レロンソンさんは、ベトナムでベトナム人を教育して日本の企業にの人材紹介するという会社を行っております。人手不足も激しい日本ですの

で参考になるお話きけるかと思ひます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

恒例になりました次回のメニューです。よもぎ弁当、麻婆豆腐、あさり入りかき揚げ、ホタルイカぬた、野菜サラダ、イチゴ、ご飯、味噌汁です。以上です。

会長からメッセージ

渋澤さんのコーディネーターが素晴らしく、あっちこち色々な意見が出て盛り上がったのではないかと思います。

私聞いてて1点だけ。茂木正さんが言った話なんですけど、日本がね、周辺各国に悪いことをしたという風に米山さんが言ったって言うんですけど、僕はその言葉だけはね、納得できてないです。

悪いことはしてないと僕は思ってるし、そういう気持ちで僕は外国の人たちとお付き合いしてます。自信を持って日本人として生きていきたいと思ひます。それでは、閉会の点鐘をいたします。



スポットライト

HIGHLIGHT

本日のゲスト



makeup
渋川RC

会長 宇田榮二様

須田 真様

スポットライト
HIGHLIGHT
スポットライト



掲
示
板

INFORMATION

今週の掲示板

ロータリー
希望の風チャリティー講演
3/10(日) 13:30～

あなたの温かい心が、子どもたちの未来を変える力になります!



佐々木成三氏 本庄市民文化会館

あ
と
が
き

担当例会を終えて



本日はありがとうございました。いかがでしたか。無事に終わり私は、ホッとしたというのが正直なところですが。

しかし、それもつかの間…例会終了間近に須田公共イメージ委員長から週報のあとがきを書くようにと「狙い撃ち」されました。

委員会の基本方針として、『R米山記念奨学金制度を理解していただく活動をします』と年度計画書に記しましたので、今回の試みはそれに沿った内容であったと個人的に思っています。

このアイデアを思い付いたのは、情報集会の場でした。そこでは実に様々な発言があり、色々な受け止め方があることが解りました。そして、私のような入会歴の浅い会員の方にも知っていただくには、双方向の会話が効果的ではないかと提案したところ、賛同を得ることができました。コミュニケーションは大切ですね。

本日配布いたしました2種類の冊子は、ロータリー米山記念奨学事業に関する最適な資料だと思っており、またタイトでしたが「ロータリー米山記念奨学事業に意見を募る」とのテーマに合ったものとしてパネルディスカッションも進行したのではないのでしょうか。

様々な事業の今後の在り方を考えるヒントになったら幸いです。私は、胸の内でバンザイを唱え、多様性とインクルージョンを感じ取りました。

最後に、八木担当副会長をはじめ委員メンバー、コーディネーター・パネラーのご協力に感謝し、また、この日のために「ロータリー米山記念奨学事業の現況」を作成していただき加藤委員には心より御礼申し上げます。引き続き、R米山記念奨学委員会をよろしく願いいたします。

高橋 豊

2023-2024年度 公共イメージ委員会

担当副会長/橋本和也

委員長/須田礼子 副委員長/小田切浩

委員/渋澤健司・金井福則・長崎隆司・中谷嘉宏・内田 徹